

全肢連情報

ZENSHIREN BULLETIN

□編集・発行

一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

〒171-0021

東京都豊島区西池袋4丁目3番12号

□Publisher ZENSHIREN

TEL: 03-3971-0666

FAX: 03-3982-2913

E-mail: web-info@zenshiren.or.jp

皆様からのニュースのご提供を
心からお待ちしております。

全肢連情報はホームページ「響(ひびき)」でもご覧になれます。URL: <http://www.zenshiren.or.jp>

SNSで障害児・者、肢体不自由児・者の情報交換を *Facebook* <https://www.facebook.com/ZENSHIREN>

第4回理事会を開催 ～平成27年度事業進捗報告等を審議

平成27年度第4回理事会が2月19日(金)に、東京都豊島区「全国心身障害児福祉財団ビル」中会議室において行われた。

会議では、平成27年度事業進捗報告並びに収支決算見込みをはじめとする4議案について審議され、全議案について承認・可決された。以下概要を報告する。

第1号 第48回全国大会(香川)終了報告の件

議長の指示を受け、上野事務局長より関係資料に基づき、第48回全国大会(香川)について終了報告がされた。

本議案については全員異議なくこれを承認し、5月21日に開催される全肢連平成28年度通常総会に諮られることが了承された。

第2号 平成27年度事業進捗報告並びに収支決算見込みの件

議長の指示により、事務局から関係資料に基づき平成27年度事業進捗状況として4つの事業について進捗が報告された。

①肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

全国大会・ブロック大会の開催、理事会、常任委員会等の開催が報告されるとともに、中央行政の検討会などへの参画、関係団体との連携が報告された。

また、河井理事が内閣府障害者政策委員会委員に就任している旨が報告された。

②肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

機関誌、広報誌、指導誌等の発行、経費圧縮のため日々の事業に関しては「響」やFacebookへ掲載していることが報告された。

また、「ふれあいの輪を広げるキャンペーン」の一環として開催しているグラフィックアート・コンテストの開催と優秀作品の公表について報告された。

③支部父母の会育成強化に関する知識の普及と助成事業

さわやかレクリエーション事業、療育キャンプ、地域指導者育成セミナー、国際交流事業、アステラス製薬車いす送迎車贈呈等の実施が報告された。

アステラス製薬車椅子送迎車贈呈では、贈呈候補先の検討及び応募基準の見直し検討が

必要ではないかとの意見があり、今後はガイドラインの策定などを図る事です承された。

④肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業

コカ・コーラシステムとのコラボレーション事業（キッザニア招待事業）、エフ・ヴィ・コーポレーションとのコラボレーション事業（サンシャイン水族館招待事業）等の実施が報告された。

その他、全国大会と併催した「ばりあふりーフェスティバル2015 in香川」の実施が報告された。

収支決算見込みについて、寄付金収入や事業参加費収入の減少により、減収が見込まれる旨が説明された。次年度以降も安定した収入確保に努めるとともに、事業費の圧縮を図ることが報告された。

第3号 平成28年度事業計画・予算（案）の件

議長の指示により、事務局より関係資料に基づき平成28年度事業計画(案)について、継続して4つの事業を柱に実施することが説明された。

①肢体不自由児者が地域で普通に暮らすことができる環境をつくる事業

全国大会、ブロック大会開催日程、理事会、常任委員会など各種会議の開催、次年度以降の全国大会開催日程が報告された。なお、理事会は、役員改選期であるため、4回開催される予定である旨報告された。また、28年度全国大会が7月開催のため、9月に開催予定の第3回理事会を地区ブロック大会に合わせて開催してはどうかとの提案があった。

29年度全国大会（近畿ブロック）について、第50回となるため周年記念大会としての位置付けを考慮する必要の有無について質問がされ、この件については再度検討することとなった。

②肢体不自由児者福祉に関する社会的啓発事業

機関誌、広報誌、指導誌等の発行について説明され、「わ」については28年度も支援をいただけることが報告された。また、「いずみ」「療育ハンドブック」はJKA補助事業であり、現在申請中のため発行については未定である旨報告された。

なお、JKAからの内示は新年度の4月になる旨報告された。

また、第35回グラフィックアート・コンテストの募集期間を4月1日からとする旨報告された。

③支部父母の会育成強化に関する知識の普及と助成事業

さわやかレクリエーション&キャンプ事業、療育キャンプ、地域指導者育成セミナー、国際交流事業等の実施が説明された。

さわやかレクリエーション&キャンプ事業は、平成27年度同様に内容ごとにA、B申請で行う旨報告された。

JKA補助事業「地域指導者育成セミナー」は、防災、減災の取り組みをテーマに申請している旨が報告された。

④肢体不自由児者と家族の生活の質を高める事業

コカ・コーラシステムとのコラボレーション事業（キッザニア招待事業）、エフ・ヴィ・コーポレーションとのコラボレーション事業（サンシャイン水族館招待事業）等の実施が説明された。

引き続き、平成28年度第49回全国大会（神奈川）の開催について関係資料に基づき、9月11日に開かれた第2回理事会以降の進捗が上野事務局長から開催要綱（案）に基づき追加及び変更箇所の説明がされた。

また、大会委員長である石橋吉章副会長より、参加申込案内についての進捗及び報告がされた。予算的なことも含め手話通訳者を配置しない方向であると説明されたが、合理的配慮に基づき配置するべきではないかとの意見があり、配置する方向で検討することとなった。

第4号 その他の議案についての件

①平成28年度定期役員改選の件

議長の指示により、事務局より今後のスケジュール説明が行われた。

②平成29年度重点要望（案）の件

議長の指示により、事務局より関係資料に基づき平成29年度重点要望（案）について各ブロックから提出された要望事項を、常任委員会を開催してとりまとめを行った旨が報告された。

なお、内容は改めて精査し、平成28年度の理事会・総会で承認を得る旨が報告された。

◇第49回全国大会（神奈川）参加見込み者・調査結果報告◇

2016/2/19現在

ブロック	都道府県連	参加人数	うち 車椅子	開催案内 希望数	第1 分科会	第2 分科会	第3 分科会	本人 部会	うち 車椅子
北海道	北海道肢連協	20	1	50	7	9	3	1	1
東北ブロック	青森県肢連	3	3		3	3			
	秋田県肢連協	3			1	1	1		
	岩手県肢連	1		2		1			
	山形市県肢連	0							
	宮城県肢連	4		20		4			
	福島県親連	3		20	1	1	1		
関東甲信越 ブロック	栃木県肢連	30		15	未定	未定	未定	未定	
	茨城県肢連	25	2	20	15	10			
	群馬県肢連	20	4	30	5	5	10	5	
	埼玉県肢連	未定		未定	未定	未定	未定	未定	
	千葉県肢連	40	1	10	15	20	5		
	東京都肢連	95	5	25	30	30	30	5	5
	神奈川県肢連								
	山梨県肢連	35	2	18	10	14	5	6	2
	長野県肢連	40		20	30	10			
新潟県肢連	30	2	0	5	7	10	8	2	
東海北陸 ブロック	富山県肢連	1		2		1			
	石川県肢連	11	1	18	3	4	3	1	1
	福井県肢連			10		15	5	5	
	岐阜県肢連	3		3	無回答	無回答	無回答		
	静岡県肢連	5		3	2	2	1		
	愛知県肢連	15	2	10	5	5	3	2	1
	三重県肢連	6		3	2	4			

近畿 ブロック	滋賀県肢連	10	2	15	3	3	2	2	1
	京都市肢連	14	2	15	4	10			
	奈良県肢連	10		30	3	4	1	2	
	大阪府肢連	18		20	5	10	3		
	和歌山県肢連	7	1	10	3	4			
	兵庫県肢連	6			2	2	2		
中国四国 ブロック	鳥取県肢連	10	1	10	未定	未定	未定	未定	
	岡山県肢連	8	1	5	2	4	2		
	島根県肢連	0		1					
	広島県肢連	4		5	2	2			
	山口県肢連	5	1	9		3		2	1
	香川県肢連	11	2	35	2	5	2	1	
	徳島県肢連	3		5	1	1	1		
	高知県肢連	未定	未定	未定	未定	未定	未定	未定	
	愛媛県肢連	3		7	1	1		1	
九州 ブロック	福岡県肢連	24		10	11	12		1	
	佐賀県肢連	2		2	1	1			
	長崎県肢連	2		2	1	1			
	大分県肢連	1	1	3		1			
	熊本県肢連	無回答		無回答					
	宮崎県肢連	3		3	1	1			
	鹿児島県肢連	3		10	1	1	1		
	沖縄県肢連	17	3	20	5	7	2	3	2
合計		551	37	496	182	219	93	45	16

第35回グラフィックアート・コンテスト 作品募集

障害の有無にかかわらず、子ども達が様々な場面でふれあうことを目指して始まった「ふれあいの輪」を広げるキャンペーンの一環として、日本コカ・コーラ(株)の支援を受けて、平成28年度も「グラフィックアート・コンテスト」を開催します。

テーマ「Smile! ～幸せな時間～」自分や家族、友達、仲間が幸せに感じる一瞬!

▽募集作品 第1部 コンピューターアート部門

第2部 デジタル写真部門

第3部 動画部門

▽応募資格 障害児者とその家族、関係者

▽募集期間 平成28年4月1日～6月15日(消印有効)

▽応募要項、応募用紙のダウンロードは、全肢連ホームページ「響」へ。

<http://www.zenshiren.or.jp> こちらで詳しいチラシを用意しています。

※ダウンロードが難しい場合は、全肢連事務局までお問い合わせください。

会員並びに関係団体、施設等への周知にご協力をお願いします。

平成27年度社会貢献者表彰候補者推薦のお知らせ

公益財団法人社会貢献支援財団では、昭和46年設立以来、社会貢献をされた方や団体に
対する表彰事業を実施し、これまでに12,190件の方々を件表彰されている。

平成28年度も「人命救助の功績」「社会貢献の功績」2部門の推薦募集を開始した。
是非とも素晴らしい活動をされている方々をご推薦下さい。

【目 的】

国内外問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられな
がら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰し、そのご功績に報い感謝する
ことを通じてより良い社会づくりに資することを目的とする。

【候補者の資格】

- 1.候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍などの制限はありません。
- 2.候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方
- 3.候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）ま
たは大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とします。
- 4.「人命救助の功績」については、原則として、平成27年1月1日以降の功績を対象
とし、この功績の場合のみ、当該行為により亡くなられた方を含みます。

【推薦締切】

平成28年4月30日（土）消印有効

【お問い合わせ先】

公益財団法人 社会貢献支援財団 事業部（池田・飯田）

〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-6 クロスオフィス内幸町801

TEL：03-3502-0910 FAX：03-3502-7190

<https://www.fesco.or.jp/recommend/index.php>

介護保険改正へ議論 ～厚生労働省・社会保障費の抑制狙い～

福祉新聞2/29号より

社会保障審議会介護保険部会(部会長・遠藤久夫・学習院大教授)が17日、約2年ぶり
に開かれた。厚生労働省は制度改正を見据え、要介護度の低い軽度者の給付見直しや利用
者負担などについて検討する意向を示した。高齢化に伴い増大する社会保障費を抑制する
のが狙い。今後は月に1～2回開催し、年内をめどに意見を取りまとめる。

冒頭、三浦公嗣・老健局長は「さらなる高齢化が見込まれる中、介護保険制度の見直し
は地域包括ケアシステムの推進、制度の持続可能性の確保が重要だ」とあいさつした。

審議の焦点となるのは介護保険の給付と負担の在り方。制度が始まった2000年度は給
付が3兆6000億円で第1号介護保険料の平均月額が2,911円だったが、15年度は給付が
10兆円を超え、保険料は5,514円。今後も高齢化の進展により、それぞれ増えると推定
されている。

政府は膨らみ続ける社会保障関係費の伸びを今後3年間で1兆5000億円に抑える方針を
示している。

この日、厚労省は給付から外す検討の対象に、要介護度の低い軽度者へのサービスのう
ち、訪問介護の生活支援（掃除、洗濯、調理など）や福祉用具・住宅改修費を挙げた。

一方、負担では、高額介護サービスの見直しや、介護納付金の総額報酬の導入などについて議論することを提示した。

これらは昨年6月に閣議決定した「骨太の方針」などで介護保険関連の検討課題として示されていたもの。利用者負担を2割とする人の対象拡大も議論される見通しだ。

委員からは軽度者サービスの縮小について「結果的に重度化のスピードを早め、介護保険財政を圧迫するのでは」「経度者へのケアがどうなるのか不安」といった慎重意見の一方、「重度予防に軽度者への支援が有効だというエビデンスを示してほしい」との指摘もあった。

また、サービスの地域支援事業への移行も検討課題となっているため「要支援1・2の訪問介護・通所介護の移行の成果を検証してから議論すべきだ」という発言もあった。

そのほか、介護人材確保について「1億総活躍の介護の受け皿50万人分整備に対して人材を確保できるか危惧する」「介護従事者の離職率ゼロこそ重要。処遇を改善すべき」「生産性向上に最も有効なのは人材の定着」などの意見があった。また「制度は維持されたが自立支援といった理念が失われないように」という声も上がった。

厚労省は同日、災害や公共事業のため本人の責任ではなく土地などを売却した場合、一時的に収入が増えても低所得者などの介護保険料や自己負担が増えないようにする方針を決めた。

東日本大震災の被災地で高台への集団移転に伴い土地などを自治体買い取る事業が行われており、その売却収入が所得とみなされるため負担が増える事例が起きている。施行は原則18年4月とし、自治体の判断により前倒しで実施することも認める。

さわやかレクリエーション&キャンプ ~27年度実地報告~

28年度もコカ・コーラシステムのご支援による「さわやかレクリエーション&キャンプ」の助成内定を受け申請受付を開始いたしました。(詳細は県肢連宛の関係書類を参照の事)申請の際の参考資料として、平成27年度に各地で実施された内容の一覧を記載します。

都道府県	申請種別	事業名	参加人数
北海道	A①	福祉避難所の視察と避難の在り方	55
	B	ハンドアーチェリーを楽しもう	70
	B	バーベキュー交流会とハンドアーチェリー	115
秋田県	A①	日本海中部地震(津波)の被災地めぐり旅行	58
岩手県	B	レジャー活動支援助成事業	35
山形県	B	クリスマス会	80
宮城県	A①	地域と連携しに防災避難訓練	50
	B	さわやかレクリエーション 被災地復興ツアー	40
福島県	A①	親の会宿泊訓練	34
	B	親子ふれあい旅行(日帰り)	30
栃木県	B	父母の会療育訓練	58
茨城県	B	東海村心身障がい児者親の会 平成27年度ふれあい行事	40
	B	全体交流会	70
千葉県	A①	肢体不自由児者と家族のための防災避難	100
	A②	カローリング大会	150

	A②	ハンドアーチェリー大会	170
	A②	ハンドアーチェリー大会	40
	B	会員交流クリスマス・音楽会	60
	A①	障害当事者(本人・家族)が主体となった地域防災の取組	100
東京都	A②	「ハンドサッカー体験合宿」～障害があっても皆でスポーツをしよう～	35
	A②	アイススレッジホッケーってなに?いろいろなことを教わっちゃおう	60
	A②	第17回日本ポッチャ選手権観戦ツアー	4
	B	父母の会一泊バス旅行	26
	B	板橋区肢体不自由児者父母の会夏期バスハイク	74
	B	日帰りバスハイクカップヌードルミュージアム見学	32
	B	つながろう地域の輪 真夏のコンサート	150
	B	親子による研修旅行	40
神奈川県	B	「ハンドアーチェリーでの交流活動」	325
	B	日帰りバス旅行「桃狩り」	35
	B	機能回復訓練部 秋のレクリエーション「いこいの村あしがら」	24
	B	ミカン狩り	55
山梨県	B	心身障害児者野外療育訓練事業	65
	B	野外療育活動(レクリエーション)事業	50
石川県	A①	「力を合わせて防災・減災・避難にむけて！」	75
	A②	「パラリンピックヘトライ&バックアップ」	75
	B	河北郡市(三市町)合同レクリエーション	50
	B	サマーフェスタ IN かほく	24
	B	「逃がすな大物、つかもう友情」	19
岐阜県	B	社会見学	63
静岡県	B	クリスマス会	45
愛知県	A①	愛肢連西尾張ブロック連絡協議会野外療育キャンプ	40
	A①	さわやかレクリエーションキャンプ	70
	A①	愛肢連西三河ブロック連絡協議会野外療育キャンプ	55
	B	父母の会東三河難病ネットクリスマス会	75
三重県	A①	災害対策事業	30
滋賀県	A①	肢体不自由児者と共に考える防災避難のための学習会	30
	B	ハンドアーチェリーふれあい体験会 第一回かいつぶり杯	30
京都市	B	バス旅行さわやかレクリエーション	50
奈良県	A①	災害に関する体験学習	40
	B	他府県の障害者との交流会(本人部会)	40
	B	親子交流事業	90
大阪府	A②	夏期レクリエーション	55
	B	日帰りレクリエーション	40
和歌山県	B	平成27年度 障害児者親子の集い	625
兵庫県	B	さわやかレクリエーション	370
岡山県	B	ふれあい体験バス旅行	120
	B	肢体不自由児者の家族と健常児者とのふれあい交流会	35
島根県	B	クリスマス会	70
広島県	B	親と子の集い	35

山口県	B	クリスマス会(会員親睦レクリエーション)	60
香川県	A①	いざという時のために!	130
	B	バーベキューパーティ	40
	B	香川県立高松養護学校 学園祭	520
徳島県	A①	みんなに優しい防災食普及啓発事業	100
	B	みんなで楽しもう! 語ろう! レクリエーションスポーツから就労まで	55
愛媛県	A②	交流・親睦ペタンク大会	60
佐賀県	B	さわやかキャンプ	70
長崎県	B	第42回長崎心理療育キャンプ	90
大分県	A②	「スポーツ大会」	50
	B	「レジャー活動支援助成事業」	43
宮崎県	B	障害者住宅 向陽の杜のべおか 施設見学	15
鹿児島県	B	レクリエーション大会(風船バレー、ハンドアーチェリー)	100
沖縄県	A②	障がい児社会体験「キッザニア & MIFA」	20
	B	さわやかレクリエーション	90

災害義援金 受領のご報告

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から5年が経とうとしています。その後も各地で豪雨による水害や竜巻、豪雪、噴火などが続いています。災害に対する義援金を今年もお預かりいたしました。継続した支援に改めて心より厚く御礼申し上げます。

足立区肢体不自由児者父母の会 様 平成28年2月23日 ¥10,790-

3月の行事予定

2日(水)	関東甲信越ブロック会長会議	藤沢市民会館
4日(金)	はげみ編集委員会	日肢協会議室
8日(金)	厚生労働省障害保健福祉主管課長会議	厚生労働省講堂
14日(月)	韓昌祐・哲文化財団助成授与式	駐日韓国大使館文化会館
15日(火)	日本の福祉を考える会	自由民主党本部
16日(水)	全社協・障連協第2回セミナー	全国社会福祉協議会
16日(水)	障害者等マーク普及PT会議	自由民主党本部
16日(水)	医療・福祉担当者合同会議	厚生労働省講堂
18日(金)	コカ・コーラ教育・環境財団理事会	世界貿易センタービル
24日(木)	日本肢体不自由児協会理事会	日肢協会議室
25日(金)	おもちゃ図書館財団評議会	浜松町東京會館
26日(土)	東北ブロック会長会議	秋田県
29日(火)	全国心身障害児福祉財団理事会	全国財団会議室